

# 小森忍・河井寛次郎・濱田庄司

## —陶磁器研究とそれぞれの開花—

2019.6.22<sup>SAT</sup>—8.25<sup>SUN</sup>

日本陶芸の発展に多大な功績を残した小森忍(1889-1962)、河井寛次郎(1890-1966)、濱田庄司(1894-1978)は、近代日本の陶磁器研究の拠点であった京都市陶磁器試験場で、日々釉薬等の研究に心血を注いでいきます。ここでの経験は、三人の制作の基礎となり、それぞれの陶芸の確立に大きく影響していきます。

以後、この三人は、置かれた境遇の違いにより華開く時期、活躍するステージは異なりましたが、常に刺激し合いながら、各々新しい表現への挑戦を重ね、その個性を磨いていきます。そして、現代の人をも魅了してやまない作品が数多く生み出されました。

本展は、“陶磁器界の三天才”とも称されたそれぞれが追い求めた美の形、その個性と表現方法を制作年順に添って紹介します。同時代を生き、生涯にわたり交友を持ち続けた三人の作品をとおして、三人が確立した独自の陶芸の世界をご覧ください。



①



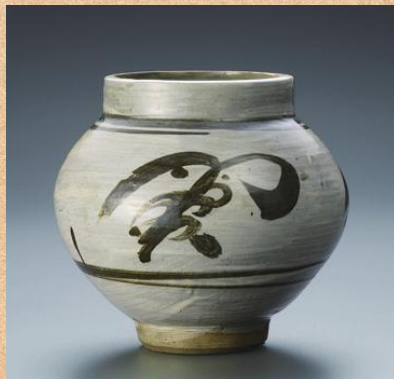
②



③



④



⑤



⑥

- ① 小森忍 辰砂長頸瓶 江別市蔵
- ② 小森忍 孔雀釉兩耳花瓶 江別市蔵
- ③ 河井寛次郎 青瓷鱗血文桃注 河井寛次郎記念館蔵
- ④ 河井寛次郎 白地草花絵扁壺 河井寛次郎記念館蔵
- ⑤ 濱田庄司 鉄絵壺 益子陶芸美術館蔵
- ⑥ 濱田庄司 掛合釉指描花瓶 益子陶芸美術館蔵

開会記念講演&作品解説

聴講無料

### 「陶磁器界の三天才—小森・河井・濱田の軌跡」

講師=瀬戸市美術館 服部文孝館長

日時=7月6日(土)13時30分~15時 定員=30名

会場=講演/研修室 作品解説/展示室 ※講演会参加の方は、作品解説時の観覧無料です。

明治から昭和にかけて日本の陶磁器界に多大な功績を残した、小森忍、河井寛次郎、濱田庄司の軌跡について学び、その後展示室にて作品解説をしていただきます。

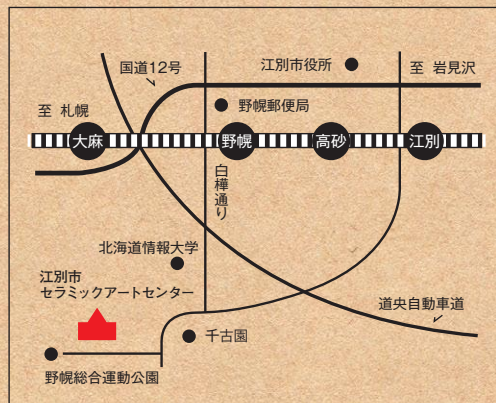
### 金継体験 よみがえれ！金継チャレンジ教室

講師=セラミックアートセンター陶芸指導員

開催日時=8月25日(日)10時~16時 申込受付 8月11日(日)から

受講料=1,000円 定員・対象=10名 一般

イベント参加には、事前の電話予約が必要です。  
イベントの申し込み・問合せ：TEL 011-385-1004



交通案内

【バスで】JR野幌からJRバス「野幌総合運動公園行」もしくは「北広島・南の里行」乗車、「セラミックアートセンター前」下車。所要時間約10分。  
【お車で】札幌・岩見沢から国道12号利用の場合、約40分。駐車無料。